さくら

SAKURA

学校法人ノースアジア大学 広報

NORTH ASIA UNIVERSITY

2012.10 October No. 232

CONTENTS

02 / ノースアジア大学：知事との意見交換会
秋田市土産品開発プロジェクト
03 / 与次郎駅伝に出場　短大魅力アップ支援事業
04 / 入試日程
05 / 高校：オープンスクール　ほか
06 / 高校吹奏楽部金賞受賞
幼稚園：おとまり会、七夕
07 / 高校サッカー部新人戦優勝
08 / インフォメーション

サッカーで学園内交流（幼稚園、明桜高校）

観光学科生が知事と意見交換

大学

7月11日、ノースアジア大学大会議室において、「知事と県民の意見交換会」が行われ、観光学科の学生8人が参加しました。この意見交換会は毎年県内各地で行われており、今回のテーマは「秋田の観光のバージョンアップについて」です。

はじめに佐竹敬久秋田県知事から「県内でも地域によって課題は様々。今日は、観光の分野を専攻している学生の皆さんと秋田の観光戦略について考えたい」と挨拶がありました。引き続き知事から、現在日本と秋田が置かれている経済と観光の現状について、近隣諸国の事例も交えながら説明がありました。

その後、参加した学生が一人ひとり自己紹介をし、観光学科で学んできたことを発表。高齢化と若者の不足やホスピタリティ、ルート観光、高速道路や外国語看板の充実、お土産品の開発などについて意見を述べました。

知事は学生の一つひとつの意見に対し、秋田県の現状や他国・他県の例を挙げて話題を広げ、具体的な解決策を募りました。学生は、普段秋田の観光について感じていることを率直に話し、知事から早速取り組むとの言葉をいただいた具体案もありました。

この意見交換会は、7月31日に「県外出身者から見た北秋田の魅力再発見」をテーマに北秋田市でも開かれ、看護学科の学生が参加しています。

秋田市の土産品を開発

大学

7月6日、秋田市役所会議応接室において、「秋田市土産品開発プロジェクト委嘱状交付式」が行われました。

このプロジェクトは、秋田市の農産物を使用した土産品を新たに開発し、観光に生かそうという取り組みで、本学の観光学科生ら15人が参加しています。

委嘱状交付式では、穂積志秋田市長より「大学生の皆さんの若さとバイタリティーと柔軟性を持って是非誇れるお土産品を開発していただきたい。結果を楽しみにしています」と激励の言葉がありました。

本学からは道端忠孝観光学科長が、「この機会を活用して喜んでもらえるお土産品を提案したい。農産品に付加価値を付け、経済効果の期待できる商品を開発したいと考えています」と挨拶しました。

また、観光学科3年の戸井田隆将さんが、プロジェクトメンバーを代表して「観光について普段学んでいることを生かしたい。ふるさと秋田のために一生懸命頑張ります」と挨拶。学生たちは、穂積市長から一人ひとり委嘱状を手渡され、今後の活動に意欲を見せていました。

この後、学生たちは7月20日に秋田市内のトマト農家、りんご農園、乳製品加工所を見学しました。夏期休業中には各自秋田市内の土産品の販売所を訪れて、現状を調査しています。現在は、これらの結果を検討して、具体的な土産品の考案を行っており、今年度末には最終案を秋田市に提案することになっています。

与次郎駅伝に出場

7月22日、第1回与次郎駅伝に、本学園から4チームが出場しました。経済学部学生、明桜高校教員、経済学部教員、法学部教員・職員のそれぞれのチームが、中土橋から広小路、千秋公園を回り、中土橋でタスキをつなぎました。

コース周辺は、レース参加者や沿道で応援する観客のほか、新たにオープンしたエリアなかいちでのイベントと合わせて、多くの人でにぎわっていました。

当日は暑い日でしたが、多くの教職員、学生が応援に駆けつけ、本学園の走者たちに声援を送りました。

校名入りの黄色のTシャツを着用した本学園のチームは、沿道の声援を受けながら全員が完走し健闘しました。本学園のランナーたちは、きつい坂のあるコースを走ったことで、日ごろの運動不足を感じたメンバーもいた様子でしたが、「練習でコースを走るたびにタイムが良くなってきているので、もっと練習すればさらに良いタイムを出せるのでは」と感想を話し、お互いの健闘をたたえ合いました。

住民と寒天の魅力を探る

短大

昨年度に引き続き秋田栄養短期大学では、秋田県「私大・短大魅力アップ支援事業」に、移動公開講座による秋田県特産品マップの作成が採択されています。

この講座は、地域の特産品を生かした新しいメニューを学生が考案し、地域住民と共に調理するものです。今年度は8月と9月にそれぞれ1回ずつ横手市で寒天をテーマに講座を行いました。横手市では各家庭で寒天料理が盛んに作られています。1回目は小学生とその保護者、2回目は成人を対象に、横手市の特産品であるトマト「シシリアンルージュ」を使ったマカロニサラダ寒天などを、栄養学科の学生と地域住民が一緒に調理しました。

講座では、学生と地域住民がいくつかのグループに分かれて、数種類の寒天料理を作りました。栄養学科の東口みづか教授による寒天の講義を受けた後は、自分たちで作った寒天を試食。どのメニューも好評でしたが、マカロニサラダ寒天が一番人気でした。学生たちは講座の前に試作をし、対象が小学生の時と成人の時とで教え方を変えるなど工夫しながら、和やかな雰囲気で調理を行っていました。

2013年度 入学試験日程（一般・センター試験利用入試ほか）

ノースアジア大学〔経済学部・法学部〕

一般入学試験

区分	募集人員(名) 経済	法律	観光	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
A方式	16	13	7	1／10(木)～1／24(木)	1／30(水)	秋田・大館・横手・青森・盛岡・仙台・山形	2／8(金)	①国語総合（古文・漢文を除く）、英語Ⅰ・Ⅱ、日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、現代社会、数学Ⅰ・A＜2科目選択＞、②面接
B方式	7	3	2	3／4(月)～3／15(金)	3／21(木)	秋田・大館・横手・仙台	3／29(金)	①国語総合（古文・漢文を除く）、英語Ⅰ・Ⅱ、小論文＜1科目選択＞、②面接

センター試験利用入学試験

区分	募集人員(名) 経済	法律	観光	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
前期	25	22	15	1／15(火)～2／1(金)	平成25年度大学入試センター試験日	－	2／8(金)	国語（近代以降の文章のみ）、外国語（英語[リスニングを除く]、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）、地理歴史(世界史B、日本史B、地理B)、公民（現代社会、倫理、政治・経済）、数学（数学Ⅰ・数学A、工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎）＜2科目選択＞
中期	5	5	2	2／12(火)～2／22(金)			3／1(金)	
後期	5	5	2	3／11(月)～3／26(火)			3／29(金)	

社会人入学試験

区分	募集人員(名) 経済	法律	観光	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
社会人	1	1	1	1／10(木)～1／24(木)	1/30(水)	秋田	2／8(金)	面接

秋田看護福祉大学〔看護福祉学部〕

一般入学試験

区分	募集人員(名)		出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
看護	前期	18	1／16(水)～1／29(火)	2／3(日)	大館・秋田・仙台	2／8(金)	①国語（国語総合、国語表現Ⅰ「近代以降の文章」）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）②数学Ⅰ・数学A、生物Ⅰ、化学Ⅰ＜1科目選択＞
	後期	4	2／27(水)～3／8(金)	3／12(火)	大館	3／15(金)	
福祉	前期	8	1／16(水)～1／29(火)	2／3(日)	大館・秋田・仙台	2／8(金)	①国語（国語総合、国語表現Ⅰ「近代以降の文章」）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）②数学Ⅰ・数学A、生物Ⅰ、化学Ⅰ、日本史B、世界史B、政治・経済＜1科目選択＞
	後期	3	2／27(水)～3／8(金)	3／12(火)	大館	3／15(金)	

センター試験利用入学試験

区分	募集人員(名) 看護	福祉	出願期間	試験日	個別検査	個別検査科目	個別検査日	個別検査実施場所	合格発表日	試験内容
前期	8	5	1／23(水)～2／5(火)	平成25年度大学入試センター試験日	なし	—	—	—	2／15(金)	※入試要項を参照のこと
後期	3	3	2／27(水)～3／8(金)		あり	面接	3／12(火)	大館	3／15(金)	

社会人入学試験

区分	募集人員(名) 看護	福祉	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
社会人	若干名	若干名	1／16(水)～1／29(火)	2／3(日)	大館	2／8(金)	筆記試験・小論文、面接

秋田栄養短期大学〔栄養学科〕

一般入学試験

区分	募集人員(名)	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
A方式	10	1／15(火)～2／1(金)	2／9(土)	秋田・盛岡・仙台・山形	2／15(金)	①国語総合（古文・漢文を除く）、化学Ⅰ、生物Ⅰ＜1科目選択＞、②面接
B方式	5	2／12(火)～2／25(月)	3／5(火)	秋田	3／8(金)	①国語総合（古文・漢文を除く）、②面接
C方式	5	2／26(火)～3／11(月)	3／18(月)		3／22(金)	①小論文、②面接

社会人入学試験

区分	募集人員(名)	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
社会人	2	1／15(火)～2／1(金)	2／9(土)	秋田	2／15(金)	①小論文、②面接

入学試験に関する詳細については下記までお問い合わせください。
［ノースアジア大学・秋田栄養短期大学］入試広報課　TEL 018-836-1342　E-mail nyushi@nau.ac.jp
［秋田看護福祉大学］学務課　TEL 0186-43-6510　E-mail wwwadm@well.ac.jp

明桜の日常を体験　オープンスクール

9月25日、明桜高校でオープンスクールを開催し、明桜高校への進学を希望する県内の中学3年生とその保護者、中学校の教員が参加しました。

チアリーディング部の演技と吹奏楽部の演奏による歓迎の後、校長挨拶、学校紹介があり、特別進学コース、文理コース、総合研究コースのそれぞれの特色について説明しました。グループごとに分かれての施設見学では、教員と在校生に案内されて授業や施設を見学し、途中のオープンカフェでケーキを食べながら在校生や他の参加者と談笑する中学生の姿が見られました。

その後、参加者からあらかじめ寄せられていた「特進コースは部活動と両立できるか」、「スクールバスは下級生でも乗れるか」、「学食について教えて」などの質問に、在校生が答えました。回答する生徒たちは、希望する進路や部活動の練習状況、おすすめの学食メニューなどを、自分の体験を元に中学生にアドバイスしました。

吹奏楽部のミニコンサートで盛り上がった後は、希望者が各部活動で体験入部を行い、在校生に混じって練習に参加。明桜高校の日常を体験しました。

サッカーで学園内交流

8月7日、明桜高校グラウンドで、のびのび幼稚園とさくら幼稚園の在園児・卒園児を対象にサッカー教室を開催しました。

さくら幼稚園では平成23年度から、のびのび幼稚園では今年度から、明桜高校男子サッカー部顧問によるサッカー教室を行ってきました。今回は、両園の在園児と卒園児の希望者がサッカー教室に参加。明桜高校の男子・女子サッカー部の部員たちも園児たちをサポートしました。

指導にあたる教員やサッカー部員らの紹介に続いて、参加者全員で準備体操を行いました。その後、在園児と卒園児に分かれて、ボールタッチやドリブル、パスなどを練習し、最後に、通常のコートよりも小さいスペースで、ミニゲームを行いました。

在園児はまだラインやゴールの位置がよく理解できていない様子でしたが、みんな楽しそうにボールを追いかけていました。卒園児の中には、スポーツ少年団などで普段からサッカーに親しんでいる上手な子もおり、サッカー部員から褒められてとてもうれしそうにしていました。

参加した在園児・卒園児たちはみなサッカー教室を楽しんだ様子で、冬休みにもこのような教室を行って欲しい。ぜひ参加したいという声が多数あがりました。名残を惜しむ園児たちが帰りのバスの中から手を振ると、サッカー部員たちもそれに応え、充実した学園内交流ができた一日となりました。

明桜吹奏楽部が金賞を受賞

8月10日、秋田県民会館において、全日本吹奏楽コンクール第54回秋田県大会が行われ、地区大会を勝ち抜いた明桜高校吹奏楽部が出場しました。

この大会において、同部は息の合った演奏を披露し、見事2年ぶりの金賞を受賞しました。

のびのび幼稚園

お星さまにお願いしたよ

7月6日、のびのび幼稚園でたなばたお楽しみ会をひらきました。

保育園と幼稚園の園児がおゆうぎ室に集まって、園長先生から「たなばたのいわれ」のお話を聞きました。

そのあとは、学年ごとにおゆうぎの発表です。保育園の園児たちがはじめに踊り、最後は幼稚園の年長さんたちがかっこよく「よっちょれ」を踊って、みんなに大きな拍手をもらいました。

続いて、年長さんの代表が前に出て、「お星さまに何のお願いをしたか」を一人ずつ発表。「サッカー選手になりたい」、「お絵かきがうまくなりたい」など、思い思いのお願いを発表しました。

最後に、先生たちが演じる「たなばた物語」の劇を見て、お菓子のおみやげをもらいました。

7月21日、のびのび幼稚園で、年長組のきらきら組、ぴかぴか組の全員がおとまり会に参加しました。

はじまりの会では先生と、困っているお友だちがいたら助けてあげることを約束しました。みんなで元気よく「小さな世界」を歌って、おとまり会の始まりです。晩ごはんにみんなで食べるカレーライスのじゃがいもの皮むきでは、お友達と場所を譲りあいながら、ペットボトルのキャップで上手に皮をむきました。続いてフルーツポンチに入れるフルーツをカットしました。はじめて包丁を触る子も、先生に「猫の手」を教わって挑戦です。おうちでお手伝いをしている子は、一人でスイスイとでき、みんなから「すごい」、「上手」とほめられ、うれしそうでした。

晩ごはんの準備が終わるとおたのしみタイムです。給食のチームごとに分かれて、積み木でアルファベットを作ったり、長縄跳びを跳んだり、紙飛行機を折って的に当てたりと、みんなで力を合わせて頑張りました。一つひとつのゲームをやりとげることができたら、おとまり会のしおりにシールを貼ってもらいます。全てのゲームをみんなでできたら、バスに乗って銭湯に出発です。お風呂に入ってサッパリした後は、じゃがいもの皮むきやフルーツカットに挑戦した、晩ごはんです。みんなおいしくいただきました。

楽しかったおとまり会も、さよならの時間はあっという間です。みんなで協力して色々なことに挑戦したおとまり会。昨日よりもいちだんと大人に近づいた一日でした。

明桜サッカー部が新人大会で優勝

明桜高校サッカー部は、9月8日から行われた中央地区新人サッカー競技大会において優勝し、平成11年以来13年ぶりの栄冠をつかみました。

同部は9月8日、9日のグループリーグを1位で突破し、決勝に臨みました。

準決勝、決勝ともに先制される苦しい展開でしたが、両試合とも同点に追いつき、PK戦の末勝利しました。

さくら幼稚園

7月6日、夕方5時からさくら幼稚園の園庭で、たなばたおゆうぎ会をひらきました。園児たちは浴衣や甚平でおめかしです。おうちの人たちも大勢見に来てくれて、わくわくした雰囲気の中で開会しました。

はじめに、園長先生が紙人形を使ってたなばたさまのお話をしてくれ、竹に飾るたなばた飾りの意味を教えてくれました。

続いて、学年ごとにおゆうぎを披露したあと、組ごとのお願いをみんなで発表しました。年長さんは、よっちょれ

を踊った後に、一人ひとり将来何になりたいかお話ししました。大人気だったのがサッカー日本代表選手です。

当日は、未就園児のお友達も大勢遊びに来てくれて、音楽に合わせて体を動かしていました。

最後にみんなで「おほしさま」の歌を歌ってお菓子のおみやげをもらい、楽しいたなばたおゆうぎ会でした。

大人に向かって大きな一歩“おとまり会”

7月13日、さくら幼稚園ではつばめ組のみんなが幼稚園におとまりをしました。

一人のお休みもなく全員参加でき、はじまりの会からみんなわくわくしていました。いつも元気なつばめ組さんですが、この日はお返事も歌もいつもよりもとっても元気にできました。晩ごはんにみんなで食べるカレーライスのじゃがいもの皮むきや、白玉づくりも、みんな真剣に取り組んだので、あっという間にきれいにできました。今日は園庭がお祭り広場に変身です。みんなで作ったアイロンビースの景品を当てるくじ引き屋さんや、スーパーボールすくい、フランクフルトやさん、隠れている文

字を探して単語を見つける「不思議な世界」で楽しみました。スーパーボールすくいの景品の水風船を上手につける子もいましたよ。晩ごはんはカレーレストランです。自分たちもお手伝いしたカレーは、園児たちも「おいしい！」と大満足でした。キャンプファイアーや花火を楽しんで、お風呂に入ったら、おやすみなさい。

次の日は、おうちの人がいなくても頑張ったみんなに園長先生から「ごほうびメダル」が手渡されました。みんなのはじめての「おとまり」という冒険は大成功です。いちだんとお兄さんお姉さんらしくなったつばめ組さんでした。

SAKURA No.232
平成24年10月31日 編集・発行 理事長総室 〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 Tel. 018-836-6527 Fax. 018-836-3321 URL. http://www.nau.ac.jp/houjin

「わら」の民具から雪国の暮らしを考える

雪国の生活に欠かせないわらの民具をテーマに、9月22日、雪国民俗館がシンポジウム「雪国の暮らしと文化　―藁の民具から―」を開催しました。

はじめに今回のパネリスト4人が、民俗学、文学、都市・まちづくり、自然環境の面からわらや稲作文化に関連する講演を行いました。

引き続き、この講演をもとに来場した方から質疑をいただき、各専門の立場からの意見を述べました。この中で、コーディネーターを務めた鎌田幸男名誉館長が「わらの文化を伝えるために、文献と映像とを残すことが必要ではないか。そして、これを見ることで簡単に民具などを復元できるものでなければならない」と述べました。質疑は、わらの文化を保存していくためにも、後世への伝え方を真剣に考えることが大切だとして締めくくりました。

シンポジウムの終わりに、ノースアジア大学の学生サークル「雪国民俗学研究会」に所属する井上大輔さんが、活動報告として秋田県と山形県の食・風習から見えるわら文化の差異についての調査結果を発表しました。

第5回ノースアジア大学 文学賞授賞式・記念コンサート

今年度も全国から394編のご応募をいただきました。授賞式終了後に記念コンサートを開催します。授賞式・記念コンサート共に一般の方もご参加いただけますので、お誘い合わせの上お越しください。

【日　時】 12月1日（土）
- ■開　　場　12:30
- ■授　賞　式　13:00〜14:15
- ■コンサート　14:30〜16:15

【会　場】 ノースアジア大学 古田記念講堂

入場無料

<コンサート>

第1部 声楽ステージ

《ゲスト》小林彰英 氏
（テノール歌手、本学総合研究センター客員教授）
腰塚賢二 氏（ピアニスト、東京音楽大学専任講師）

第2部 吹奏楽ステージ

ノースアジア大学吹奏楽団・明桜高等学校吹奏楽部

お問い合わせは 総合研究センター TEL 018-836-6592・4531